



## アミール・ツアルファティ

[2022年7月18日 ニュース速報]

### イラン、核能力を認める

<https://youtu.be/nnNZzd3MQ3c>

みなさん、シャローム、アミール・ツアルファティです。南アフリカのケープタウンからライブ配信です。今日は月曜日、非常に忙しい週末を過ごしました。土曜日は、Awaiting His Return カンファレンス、それからバリー牧師、マイク牧師と私は、日曜日に3つの異なる教会で話をしました。すばらしかったです。明日はさらに多くのイベントがあります。

しかし、私は昨日と今朝、テレグラムに非常に重要なニュースを投稿しました。テレグラムで私をフォローしていないと、見逃してしまうと思います。そして、これらは非常に重要なニュースですから、YouTube や Facebook でシェアしたほうがいいと思いました。あと、Twitter でも。私はそこで活動していませんが、ユーザー名を保持するためだけに存在します。

ともかく、2つの重要な情報を共有したいと思います。良いですね？非常に重要な最新ニュースです。私をフォローしていない方は、おそらく、初めて耳にする内容でしょう。よく聞いてください。かなりの数の人から言われます。「あなたはイランが核能力に到達しようとしている、とみんなに言ってきて、しかも、あなたは何ヶ月もそれを言ってきました。でも、ほら、それは起こっていませんよ。なぜ、あなたはそんな事を言っているのです？」

さて、まず第一に、それは起こっています。私がこれを伝えているのは、誰もそれを言っていないからで、皆、それを言うとそれに基づいて行動しなければならない事を、恐れているのです。ご存知のように、国、たとえば、イスラエルは「私たちはイランが核兵器を持っていることを知っています」と言えば、イスラエルは、それに基づいて行動しなければなりません。つまり、世界は、この情報に対応しなければならなくなりますから、彼らは、必要な措置を講じる必要がないように、それを言わず、知らないフリをする方を選びます。しかし、聞いてください。その時代は昨日で終わりました。昨日の時点で...

注意して聞いてください。私は、イランの最高指導者の顧問の言葉を引用しています。彼の名前はカマル・ハラジ。私のテレグラムで、それをご覧になれます。まだ私をフォローしていない人、それは良くありません。

彼は昨日、アルジャジーラで、彼の国は核敷居国として、核兵器を開発するためのすべての能力を持っている、と言い、認めました。「我々は、核敷居国である。つまり、爆弾に必要なものはすべてそこにある。

あとはただ、組み立てるだけ。我々には、より多くの技術や、より多くの濃縮ウランを取得する必要はない。」

それから、彼は次のように言いました。「見なさい。我々はすでに、数日以内にウランを 20%から 60%に濃縮していた。」彼は言います。「我々にとって、60%から 90%まではとても簡単だ。」

さて、イランの戦略をお話ししましょう。彼らが何かにおいて、無罪で現れる時は、彼らが実行する前の段階にあって無罪なだけです。つまり、彼はまさに、十分な量の 60%濃縮ウランを持っていることを認めたのです。それを彼は認め、それから彼は言いました。「我々は、容易に 90%に濃縮できる」 ちなみに、これは、武器レベルです。

さて、彼の言ったことと、私たちが知っていることすべてと、彼らが以前にしたことすべてに基づけば、彼が 60%を認め、90%に濃縮できると言ったとき、彼らはすでに 90%を持っており、60%はずっと前に達成されてきました。そして、私たちは、ずっとそう言って来ました。私達は、それについて話して来て、私はそれについて言及し、私はそれを報告してきました。2015 年の合意によると、彼らが許可されたのは、わずか 3.6%でしたが、彼らはそんな事お構いなしで、しばらくの間 20%に濃縮していて、そして今、彼らは 10 倍高速な新しい IR-6 遠心分離機を設置、それらは、数日以内に 60%に濃縮します。

もし私に聞かれるなら、彼らはすでにいくつかの爆弾に必要な量の 90%を持っています。私たちは、それを知っています。私たちは、必要なすべての情報を入手し、私たちは情報を持っています。

そして今、彼らは、彼らがすでに敷居国であることを発表しています。つまり、「我々はそれを持っている。あとは、決定するかどうかの問題だ。」彼らは、言います。「まだ爆弾は持っていない。我々はそれを望んでおらず、我々は、その決断は下していない。」

さて、繰り返しますが、思い出してください。彼らは常に、彼らの現状の一手手前で認めます。彼らが実際にいる位置の手前で。ですから、それを覚えておく必要があります。非常に重要です。爆弾さえ、すでにそこにある可能性が非常に高いですから。

では、次に、他の話をしましょう。多くの人が見落としている事、昨夜、テレビのスピーチでの事です。イスラエル軍の参謀長、アヴィヴ・コチャヴィ中將、イスラエル軍の最高司令官が、次のように言いました。「イランの核開発計画に対する軍事オプションの準備は、道徳的義務であり、そして国家安全保障命令である。」

彼は、言いました。「これは、我々が従わなければならないことであり、私たちにとってオプションでさえない。これは絶対だ。」それから彼は言いました。「核計画に対する軍事行動の準備は、さまざまな運用計画、多くのリソースの割り当て、適切な武器の獲得、諜報、訓練を含む IDF の準備全般の中心にある。」つまり、初めて、イランは彼らが核敷居国であることを認め、そして初めて、イスラエルの司令官は言います。「我々は、お前達を攻撃する用意が出来ている。」言い換えれば、これは単なるオプションではありません。

これまで私たちがいつも「我々は、軍事的選択肢がテーブルにあることをイランに伝えなければならない。」と言ってきましたが、これはもはや、オプションではありません。イスラエルは世界に語っています。「あなた方が合意に達しようと無かろうと、イランがあなた方に真実を語ろうと、嘘をついていようと、我々は攻撃する。我々は、我々の軍事オプションを使う。」

もはや選択肢ではなく、これは命令だ、と彼は言います。彼はヘブライ語で「tsav hashaa」と言いました。「これは命令だ。」これは、必ずしなければならないことです。それは指示であり、何かをせよという命令です。そして彼は言います。「私達はそれをしなければならない。」

ですから、“与えられた時間枠が、もうすぐ閉まることをイスラエルは理解しているか”と私に訊かれるなら、“彼らの爆弾入手を阻止する機会がある期間...”

イランは現在、国際社会と勝負をしています。そして基本的に、まだ、合意は署名されていません。私は、イランが遅らせているのだと思います。なぜか？イランは、取引が行われる前に、必要なものをすべて揃えておきたいからです。そうすれば、その合意で、彼らは国際社会から免責を受け、誰も彼らを攻撃する事はありません。それを彼らは望んでいるのです。ほら、彼らはとても利口です。彼らは、ずっと前に合意に署名出来たのに、それをしませんでした。彼らは、まだ彼らの望む状態ではなかったから。今、彼らは整いました。だから、彼らは必要なものすべてを手に入れるために時間稼ぎをしています。27箇所秘密の核施設が、イラン全体に広がっていて、それらの多くは、おそらく国際原子力機関に知られていません。その為、それらは明らかに監督されていません。

そして、皆さん、私に言えるのは、イランは、爆弾を入手する寸前で、イランには、爆弾を入手するために必要なものがすべて揃っています。イスラエルは、それに基づいて行動するための最終的な準備をしています。

サウジ空域が、現在、すべての航空会社に開放されているという事実は、非常に興味深いのです。イスラエルが、その前にサウジ空域を使用していたとしたら、それは世界にとって、イスラエルとサウジアラビアの間に秘密の取り決めがあったことを意味します。しかし今、サウジは言えます。「ほら、私たちの空域は開いていて、イスラエルは、イランを攻撃するためにそれを使用します。それは彼らの問題であって、我々と彼らとの間には、何も取り引きもありません。」とても興味深いです。

皆さんに知ってほしい事が、2つあります。繰り返しますが、イランはそれを持っており、イスラエルは、それを攻撃すると言います。

次に、ヨーロッパの熱波や、ポルトガル、スペイン、フランス、英国での火災のニュースを見てください。テレグラムで私をフォローすると、私はそれも報告しています。世界中でたくさんのが起こっていることが、はっきりとわかります。新しいウイルスや、変異株、その他、すべてが、世界中に広がり続けています。

さらに言えるのは、皆さん、それでも民間機の飛行便数が過去最高、人々は休暇に出かけ... アメリカでは、ついにアメリカ人は家を出て、休暇に出かける人の数は、おそらく今のところ記録的な数字です。人々は、今まで以上に、普通の生活を感じたくて、世界は通常の日常生活を送っています。

そして、非常に興味深い事、現在起こっている事全て、また、ヨーロッパ、中東、中東のすべて、それと、もちろん、アメリカでの政治的不安定、現在起こっている非常に多くの事から、皆さんに思い出して欲しいのです。イエスが、終わりの時を説明された時に、主が弟子たちに言われたこと、主はマタイ 24:38 で、こう仰いました。

**「洪水前の日々は、ノアが箱舟に入るその日まで、人々は、飲んだり、食べたり、めとったり、とついでりしていました。」 (マタイ 24:38)**

裁きのその日まで、主の日まで... そして、私たちは皆知っています。ノアは救われ、裁きから取り除かれました。彼は浮かび上がる箱舟の中にいて、世に対する神の裁きに溺れることはありませんでした。

そして興味深いことに、多くの人が...多くのクリスチャンが、聖書の教えにある、教会の携挙に関する側面全体を疑っています。「携挙」という言葉は、聖書にはありません。でも「聖書」という言葉も、聖書にはありません。「ラプトウーロ」はギリシャ語に由来し、「ハルパゾ」は聖書にあります。“取り去られる”という意味です。そして、多くの人が言います。「ほら、エノクやエリヤのように、過去に取り去られた人は居ます。イエスご自身でさえそうです。でも、膨大な数の人々が地球から取り去られた事など、一度もありません。」

さて、ノアが120年間箱舟を建てたとき、地球に雨が降ったことは一度もありませんでした。それまで地球の住人は、雨を見たことがなく、彼らは雨を経験したことがありません。それでも、彼らは、誰かが箱舟を作っているのを見て、誰かが、まるで洪水が近づき、雨が降ると浮かぶ船のようなものを作るのを見ています。もちろん、ノアが洪水について彼らに伝えていたことを、私たちは知っています。ノアは義の働き人で、彼は皆に警告しました。しかし、彼らは聞こうとしなかったのです。

だから、皆さんを励ましたいのです。ノアの時代と同じように、まるですべてが正常であるかのように見えます。人々は、私たちの周辺のが、実際は大した問題ではないかのように行動しようとしませんが、しかし現実には、終わり日について、イエスが仰ったすべての描写が起こっています。戦争と戦争の噂...世界中で起こっている事を見てください。私はウクライナで起こっている事と、そしてもちろん、その影響について報告しています。また、それに伴う、食物連鎖やその他の事も。しかし、皆さん、知ってください。この安定性の欠如は、至るところにあり、それだけではありません。地震や疫病、それに熱波があり、洪水があり、飢餓があって、非常に短期間に、ものすごくたくさんのが起こりました。地震は以前からありますが、今ほどの頻度と強さではありません。

キリストが言及された、産みの苦しみを指し示すものはすべて、裁きの前に起こります。裁きの前です。これらはほんの始まりに過ぎない、と主は仰いました。しかし、繰り返しますが、思い出してください。ノ

アは、箱舟に足を踏み入れて、上げられました。だから、洪水が来ても、影響を受けませんでした。そして120年間、彼はそれに取り組み、誰も気に留めず、誰も彼の言うことを聞きませんでした。それでも、彼は義の働き人でした。

そして思い出してください、創世記6章に戻ると、聖書全体の中で最も悲しい部分があります。主が、文字通り、次のように言われました…ほら、聖書の中で。そして、非常に興味深い事に、これが初めてで、聖書の6章目です。5節と6節を見てください。まず第一に、次の事実から始まります。

**「主は、地上に人の悪が増大し、その心に計ることがみな、いつも悪いことだけに傾くのをご覧になった。」**

それが5節で、次に6節、創世記6章6節を思い出してください。とても悲しいことです。

**「それで主は、地上に人を造ったことを悔やみ、心を痛められた。」**

主は悔やまれ、そして心を痛められました。なぜなら、一つの罪が入り、それは、創世記3章の一つの罪でしたが、今や、その罪は、一日中、どこでも、いつでも絶えずです。そして聖書は「人を地の面から消し去ろう。」と主が仰った事を告げています。しかし、その後8節が来て、こう言います。**「しかし、ノアは、主の心にながっていた。」**

ですから、私たちはノアの時代のように、今、私たちが生きる時代は、世界がまるで何も問題なく、すべてが順調であるかのように振る舞いますが、しかし、私たちは、物事が異常であるのを見て、起こっている事を見ています。そして、私たちは、強く居る事を忘れてはなりません。主がすぐに来て、私たちを連れて行ってくださるのですから。

だから、皆さんには、それによって励まされて欲しいのです。ほら、私たちが報告するとき、少なくとも私がテレグラムで物事を報告するときは、誰かを怖がらせる為ではありません。クリスチャンを怖がらせる戦術は、“いいね”やフォロワー、そしてお金を稼ぐための、安っぽいやり方です。私は、誰かを怖がらせるために、それらのことを言っているのではなく、事実、皆さんを備える為であって、それ以上に、皆さんを励ますためです。主が私たちを迎えに来てくださる日が、非常に、非常に、非常に近いです。ほら、イエスは仰いました。

**「あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。」**（ヨハネ 16:33）

主は実際に仰ったのです。「落ち込んだり、鬱になってはいけない。」「ストレスや不安に悩まされるな。」

**「勇敢でありなさい。」**私達は、終わりを知っているのだから。**「わたしはすでに世に勝ったのです。」**

だから、皆さんを励まします。はい、イランは爆弾に急速に向かっています。はい、イスラエルはイランへの攻撃に急速に向かっています。はい、ヨーロッパ、中東、アフリカ、その他多くの場所で戦争があります。はい、政治情勢は不安定です。はい、気象現象、地震、疫病、火事、洪水はかつてないほど世界中にあります。はい、これらのことが起こります。そして、それらは、終わりに近くに近づいて、起こるべき事

す。そしてイエスは、これまでにない強さと頻度でそれらが起こる、と言われました。しかし、覚えておいてください、私たちは勇敢でいなければなりません。私たちは、御父のわざに勤まなければなりません。私達は、自身を備えなければなりません。そして、私たちは、神がこれらのことを世界に表明するために用いられる器でなければなりません。

聖書は、私たちを“城壁の見張り人”と呼んでいます。見張り人は、人々に警告しなければなりません。ただ、彼らに警告し、彼らがそれについて何もしなければ、彼らの血は彼らの上にあります。しかし、何が来るのかを知っていて、彼らに警告していなければ、彼らの血は見張り人の頭上にある、と聖書は言います。私たちは、何が来るのかを知っているが、それについて世界に警告しないようではいけません。彼らは私達を嘲笑したり、笑いものにしたり、私達を軽蔑したり、拒否したり、何でも好きな事をするでしょう。でも、私達には分かりません。時に、1000人に伝えて、1人だけが理解する事もあり、1人の人が、神の御国に加わるのです。私達は、家族や職場、学校、もちろん、どこにいても口を開くことが重要です。日数は少なく、やる事がたくさんありますから。いいですね？

ですから、義の働き人になり、箱舟を建ててください。そしてすぐに... すぐに、私たちはここから連れ出されるでしょう。それまで、私たちの御父のわざに励みましょう。

ご覧いただき、ありがとうございます。どうか、どうか、お願いですから、これをできるだけ多くの人々に共有してください。重要なメッセージですから、拡散しなければなりません。いいですね？

繰り返しますが、バリー牧師、マイク牧師、そして私は、引き続きここ南アフリカでいくつかの主要なカンファレンスと、他にも多くの講演会があって、本当に皆さんのお祈りが必要です。ですから、私たちがここ南アフリカで主の事業を続けている間、私たちのためにお祈りください。

私たちは、南アフリカの人達が大好きです。私たちはここに居て、とても幸せです。どうか... 繰り返しますが、私たちのために、お祈りください。

ありがとうございました。神の祝福がありますように。

そして、テレグラムに参加してください。では、参加方法をお見せしましょう。

テレグラムで Amir Tsarfati と Behold Israel チャンネルに参加してください。

ここでは、アミールからの毎日の更新と音声メッセージを受け取ります。

また、私たちのコミュニティに参加して、コメントで返信することもできます。

始めるのは簡単。App Store からテレグラムをダウンロードし、次に、ブラウザで Behold Israel テレグラムチャンネルにアクセスします。そこから「チャンネルのプレビュー」をクリックして、「ジョイン」をクリックします。以上です。テレグラムでお会いしましょう。

---

ビホールド イスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvG6Mr63Aqwi iXDkwRVQ>

日本語の聖書箇所は特記がされていない限り新改訳 2017 より引用しています。

聖書 新改訳 2017©2017 新日本聖書刊行会

メッセージの無断転載を固く禁じます。

Copyright © ビホールドイスラエル All Rights Reserved.